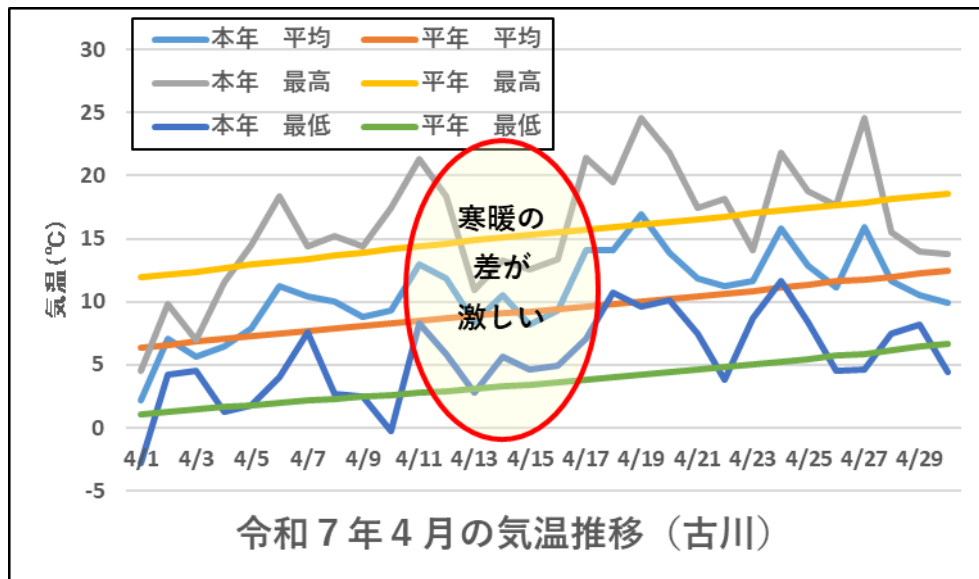


～本年4月は 前年ほど暑くはない 概ね平年並みの気温推移～

～乾田直播における出芽前処理の適期は 5月第2半旬頃！～

1 令和7年4月の気温推移（古川アメダス）



◆4月25日発表 東北地方の1か月予報(4月27日～5月26までの天候見通し)【気象庁ホームページより】

- ・天気は数日の周期で変わる。期間の前半は、気温がかなり高くなる見込み。
- ・向こう1か月の気温は、高い確率70%，平年並みの確率20%，低い確率10%。
- ・降水量は、多い確率40%，平年並み若しくは少ない確率30%。
- ・日照時間は、多い若しくは平年並みの確率30%，少ない確率40%。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）			
気温	東北地方	向こう1か月 04/27～05/26	10 20 70
		1週目 04/27～05/03	10 10 80
		2週目 05/04～05/10	10 30 60
		3～4週目 05/11～05/24	20 30 50
降水量	東北地方	向こう1か月 04/27～05/26	30 30 40
日照時間	東北地方	向こう1か月 04/27～05/26	40 30 30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

2 乾田直播栽培における播種作業及び今後の管理

(1) ほ場の準備

- ・ほ場が平らでないと、出芽ムラが発生する。また、除草剤が効かない場所も出てくることがあるので、田面高低差が10cm以内になるように仕上げる。
- ・パワーハローで耕起・整地した後、鎮圧を行って「播種床」を完成させる。



【パワーハローによる耕起・整地】



【ケンブリッジローラーによる鎮圧】

(2) 施肥・播種作業



- ・乾田直播栽培では、播種後から出芽までの乾田期間に即効性窒素肥料が流亡しやすいので、基肥一発体系が有効である。
- ・窒素施肥量は、代かき栽培時の1.5倍程度（10～12kg/10a）が必要である。
- ・播種適期は、4月～5月上旬である。
- ・播種量は、最初は5～6kg/10aを目安とする。
- ・播種深は、25mm程度を目安とする。深いと出芽に時間を要するうえ、出芽ムラが発生しやすくなる。**播種深の調整が重要！**
- ・播種後は、再び鎮圧を行い、種子と土壌を密着させることで、出芽率が向上する。

(3) 出芽時期の予測と除草剤の散布

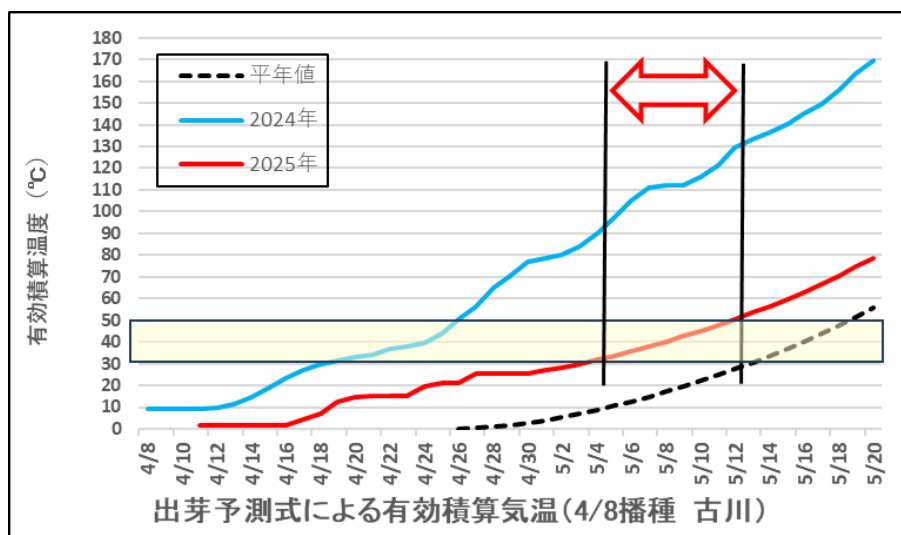
- ・水稻の出芽前に除草剤を適期散布（出芽前処理）するためには、いつ頃出芽するかを推定する必要がある。

◆計算式（

- ① 有効気温（℃）＝播種後毎日の平均気温（℃）－11.5（℃）
（平均気温が11.5℃以下の場合はカウントしない）

- ② ①の値を毎日足していき、50℃（積算温度）を超えたら「出芽」と予測する。

【例】下図は、令和7年4/20～5/20までの古川アメダスの「実測値」と「平年値」等から出芽時期を推定したものである。



月日	平年値	2024年	2025年
4/8		9.1	
4/9		9.1	
4/10		9.1	
4/11		9.1	1.5
4/12		9.7	1.9
4/13		11.6	1.9
4/14		14.5	1.9
4/15		18.9	1.9
4/16		23.5	1.9
4/17		27.0	4.5
4/18		30.0	7.1
4/19		31.5	12.5
4/20		32.9	14.9
4/21		34.3	15.3
4/22		36.8	15.3
4/23		38.0	15.4
4/24		39.8	19.7
4/25		43.7	21.1
4/26	0.1	50.2	21.1
4/27	0.4	56.3	25.5
4/28	0.9	65.2	25.7
4/29	1.7	70.4	25.7
4/30	2.7	76.7	25.7
5/1	3.9	78.7	26.9
5/2	5.3	80.3	28.3
5/3	6.9	84.0	29.9
5/4	8.7	90.2	31.7
5/5	10.6	97.3	33.6
5/6	12.7	105.0	35.7
5/7	14.9	111.3	37.9
5/8	17.2	112.2	40.2
5/9	19.6	112.2	42.6
5/10	22.1	116.1	45.1
5/11	24.7	121.6	47.7
5/12	27.5	129.5	50.5
5/13	30.4	133.5	53.4
5/14	33.5	136.7	56.5
5/15	36.7	140.4	59.7
5/16	40.1	145.2	63.1
5/17	43.7	149.4	66.7
5/18	47.5	155.9	70.5
5/19	51.5	163.5	74.5
5/20	55.7	169.3	78.7

◎出芽前処理の散布適期は、有効積算温度が 30℃～50℃の期間（網掛け部分）とされている。

○4/8に播種したとすると、「平年値」では5/13（30℃に達した日）～19（50℃に達した日）が散布適期となるが、**令和7年は5/4～12日頃と推測される（上図及び左表参照）。**

- ・出芽前処理には、マーシェット乳剤（土壌処理剤）とラウンドアップマックスロード（非選択性茎葉処理剤）を混用して散布すると、出芽前に発生した雑草を枯らし、散布後2～3週間後までノビエの発生を抑制することができる。

◆乾田直播栽培における雑草防除の成否は、乾田期（水入れ）までの処理が重要である。

○乾田直播栽培における除草体系は、下図を参照されたい。

